
誓いのレイルズリード

つきよし風桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誓いのレイルズリード

【Nコード】

N8230H

【作者名】

つきよし風桜

【あらすじ】

隣人さんは言いました。中二男子に言いました。「春緋。君の唇は、俺がこの命に代えても護ります」……とりあえず一発、殴らせて下さい。

はじまり。

桜が舞っていた。

絶え間なく、風が千切る薄桃色の破片。背景の蒼に良く映えるそれ。そう、光の粒にも似ていた。

君は。

其処に居て。

君は。

俺を見て。

戸惑いを映す、その蒼い瞳の中に。ほんの少し、見知らぬものの興味も見せた。

はじめまして、君。

君を護りに参りました。

と。

俺が腰を折った時。

君は。真似をして少し、腰を折り。

「はじめまして」

と。微かな声で、俺の言葉を繰り返し、紡いだ。

君の名は何ですか？

と。

俺が問い掛けた時。

「……はるひ」

そう、君は答え。

いい名前ですね。

と。

俺が微笑んだ時。

幼い君は。

まるで花開くように、ふわりと。柔らかな笑顔を見せたんだ。

そう。

その少年の名は「花村春緋」。

それが。

俺が奪還した

世界を統べる、「神」の名前。

そのいち。

「花村君の事が好きなんですけど」

……ほづ、そうかそうか。好きですか。

なら、まず第一にその仏頂面を何とかしてくれやがれ。

『隣人さんは変人さん』

只今放課後、てか最早夕暮れ時。

この方の家が何処なのかは知らない。此処から近いのか遠いのかなんて解らない。

けど、今日ノ五時半頃ソコニキテ下サイ待ッテマスと言われて渡された紙。それに示してあつた場所が、俺ん家の近所の公園だった

から。

面倒だからとほったらかすのも酷い気がするし……と、こんな事考えてる時点で俺の脚は酷い奴認定ボーダーなんか余裕で超えてるんだろうが。まあ、とりあえず指定された場所までのこのことやって来た訳だ。

そしたらさ。

もう帰れ、と不可抗力で思われてしまう小学校低学年と思しきガキ共が、無邪気に現・在・進・行・形！で揺らしてるブランコの前でさ。

この方、こと。クラス一の美少女こと学年一の美少女こと、いや最早学校一の美少女こと。服装は制服のまま、しかし艶やかな黒髪はツインテールにして御登場なさった栗原優妃^{くりはらゆうひ}サマサマは。

平然とこうぶつ放しやがりなさいました。

花村君ノ事が好きナンデスケド。

突っ込みどころは三つある。

一つ目。なんですけど、って何だよ。言うなら最後まで言えよ。

二つ目。周囲の状況を考えて下さい。ほら、ガキ共に早くもはやし立てられているじゃんかよ。

そして、三つ目にして最大のポイント。その仏頂面はどうなさったんですか？

まあ、つまりは。超、かける事の百くらい、罰ゲーム感満載という事で。

「……それ、本気？」

三つもの突っ込みポイントを押しつけられた俺は。当然ながらそう問うてみる。

と。栗原は、あろうことか。

……表情は微塵も変わんないが。

「本気。わたしは花村君が好き。罰ゲームとかじゃないから。全然、違うから」

そ、即答。

え？ ええ？ ……ひょっとして貴女、本気なの？

カーカーと。橙に染まった空を、カラスがテンプレ通りの鳴き声を上げながら飛んで行く。

どうせなら、ぐぎゃーす、とか。そんな風に鳴いてくれりゃあ良いのに。栗原が驚いてる間に、ばーっと走って家に飛びこめるかもしれないから。

……どうしよう。何言おう。

「あー……なら」

何でそんな顔してんですか？

「………何で、俺なんですか」

しかし口をついて出てきたのは、思いついたのとは全然違う質問。栗原の、相変わらず平らかな声で、の返答は。

「魅力的だから」

ミリヨクテキ。ミリヨクテキ、ミリヨクテキ、ミリヨクテキ。

……周囲のブランコボーイズに、にやにや笑いながら山彦の如く

繰り返されて。不可抗力だ、俺の頬は熱くなる。多分この夕焼けの如く赤く染まっている事だろう。畜生、うるせえぞガキ共。お前等は黙ってブランコ漕いでこの広い空と同化してろ。

とか。彼等相手にキレていても、状況は絶対に好転しない。とりあえず、栗原に向けて言う言葉を考えないと。

「あー……でも、俺は……」

けど。

……悩む。

どうやって断ろうか。

……だって、イエーイはいはい喜んでーなんて。そんな事、俺には言えないよ。

栗原は本当に、すごい美人だと思うけど。けど、別に好きっていう感情は無かったし。……告白された今も、無い訳だし。

それに、だ。こんなアイドルみたいな奴と付き合ったら、周囲の目が一気に刺々しいものに変化しそう。何より俺は、それがやだ。

だから。しばらく悩んだ末。素直にぶつけようと考えた俺は、頭を下げてこう言った。

「……ごめん、無理。応えらんない」
すると、だ。

栗原は。相変わらず平らーな声で。それはもう、たった今均しめたグラウンドーって感じの声で。

「そう、それは残念」

へ。

落胆の色ゼロ？ まるで無し？

と。ひょっとして、というかやはり罰ゲームだったのか。俺、騙されたのか。

そんな、ムカつくようなほっとするような予感が浮かんで。畜生でもちよつと良かったなんてこれまたよく解らない事を考えつつ、頭を上げた、その時。

栗原が。ツインテール揺らして、一歩、前に出て。

「だったら、せめて此処でキスして」

ロケットランチャー、発射。

あまりの衝撃に。俺には目を白黒させる事しか出来ず。

「……………は、い？」

嘘だと言つて。誰かボクの目を覚まさせて。

そんな願いを込めて、首を傾げてみたのだが。

栗原はもう一歩、前へ出て。

「付き合つのが無理なら、わたしとキスして。花村君」

同じ要求を突き付けてくる。

てか。

何言つてらっしゃるのこの人！？

と。俺が茫然としている間に。

栗原サンは発進し。砂利を踏んで向かってくる。そう、威圧感を携えて、じやりっじやりっじやりっじやりっ、と。しかもかなりのハイペースで。

「え、えええ、えーと、えーと、それ、それは、それこそ駄目で」俺、ようやく後退開始。

「駄目？ それこそ駄目。こっちを断るのは許さない」速度アップ。……けど、うわやばい。こけそう。

「は、はあ！？ いったいや、けどこーいう時、決定権は俺にあるんじゃない」

「いいえ、わたしにあるの。とにかくキスして、花村君」

そ、そんな不条理な！

てかうるさい、周りがうるさい、ええい手拍子しながらキスコールすんのやめるクソガキ共！

……て。

「ぐはっ！？」

やっぱりというか、とうとうというか。俺様は、こけまして。

尻餅について。……その間にも、仏頂面栗原は突撃してきていて。

うわわわわわわ。

ヤバイ。ヤラレル。てか、ウバワレル。

……嗚呼。けど、まあいいか。栗原美少女だし。

と。

俺が覚悟を固めた、その時でした。

「なりませ

ん！！」

伸びに伸びた、麗しきテノールボイス。それが辺り一帯に響き渡り。

俺と栗原の、最早五十センチも無い、その間に。

凄い勢いで、白い球が飛んできました。

地面に衝突した球は、ぐしゃっと、破裂。割れてしまつてから卵だと判明した。綺麗に残った黄身が、夕の中艶々と照り輝いていたから。

茫然としながら。既に小学生達が視線を奪われていた、その人物に俺も目をやると。

其処は、公園の入り口。長ネギが飛び出したオレンジ色のエコバックを籠に詰めた、ママチャリという名のバイクと、夕陽をバックに。

左手には卵パック。そして黄金の右手には、その中から取り出した卵を備え。

美脚と呼ぶにふさわしいおみ足で仁王立ちし。キリッ、と此方を見据える長身の美男子。

うわ。アレ、隣人さんじゃん。

と。じゃりじゃりにけつを付けたまま動けない俺は。何だか複雑

な気持ちになる。

俺ん家での彼の呼び名は、隣人さん。けれど彼の本名は三呉みくれせい蒼波。
彼と会話すると俺は決まって、マンツーマンならともかく、数人
で会話する時は、蒼波さんは黙って笑ってた方がいいですよ、そう
アドバイスしたくなる。

そう。隣人さん。蒼波さんは。
完全無欠の、変人さんなんだ。

そのいち。（後書き）

どうも、風桜です。

これは……書こう書こうと思いつつ、すっかり忘れていた作品です。
『誓いのレイルズリード』。

今後もぼちぼち連載していきますので、見てやって下さいませ。

では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8230h/>

誓いのレイルズリード

2010年10月9日00時33分発行